

2019年4月26日

課題名：後腹膜または卵巢奇形腫における蛋白尿の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、後腹膜および卵巢奇形腫について診断時の尿蛋白の有無を調べることによって自覚症状の出現前の早期発見を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2008年1月から、2018年12月までの間に、後腹膜または卵巢発生の奇形腫であると診断された方。

◆研究に使用される情報・試料◆

性別、生年月、病理診断結果、尿検査結果、超音波やCT検査所見

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

小児科 研究責任者 納富 誠司郎

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明